



SENSHOJI
YUKARI NEWSLETTER
1994-2025

ゆかり通信

VOL.335

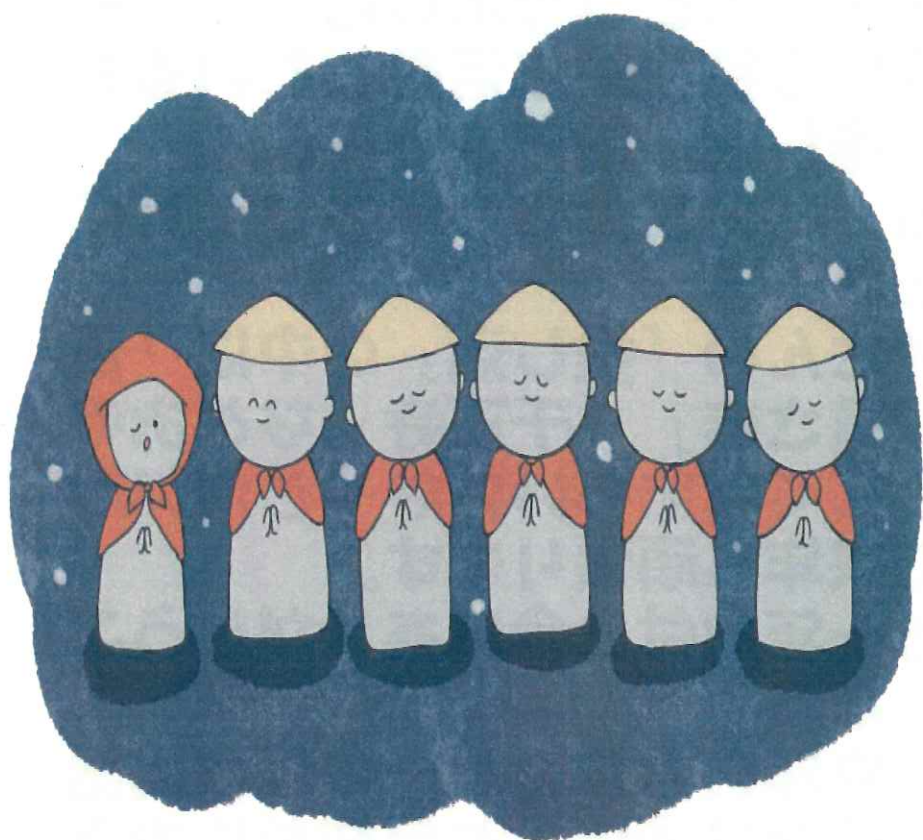
令和 7 年 12 月

北海道千歳市清水町1-14 鶴寶山 千正寺

TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883

ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2025年千正寺カレンダー 12月の言葉



過去が咲いている「今」
未来のツボミでいっばいの「今」

(河井寛次郎氏)

今年は戦後80年の年でした。私たち本願寺教団では戦後80年の節目の年として、全戦没者追悼法要や各地域の寺院で、追悼法要や研修会等が開催されました。10年後20年後にはより一層、戦争体験者が減少することを踏まえて、こうした法要等を行ったことだと思います。戦後80年、戦争体験者は減少していますが、第二次世界大戦が自身の人生の岐路になっていない人はいないと思います。

私の父には兄がいましたが第二次世界大戦で戦病死し、父がお寺を継ぐことになりました。そうして私がお寺の長男として生まれ、今僧侶をしています。もし戦争がなければ私は僧侶になるどころか生まれてさえなかったことでしょう。第二次世界大戦は多くの人の人生を変え、その戦争の悲しみの上に私たちの今があります。

私は今、後志管内の共和町にある明善寺の住職をしながら、千正寺さんのお手伝いもさせて頂いています。明善寺から泊原子力発電所までちょうど10キロ。3号機の屋根がはっきり見える距離で生活をしています。以前、尊敬するご住職さんが「今、現代は『強さ』・『早さ』・『便利さ』ばかりを求めて生きていて、その象徴が原子力発電所です。」と仰っていました。

近隣の寿都町、神恵内村は今、核のゴミ問題でゆれています。人間の力では制御できない原子力を使い、放射能は何万年も放射線を出し続け、核のゴミの処分地も未だ決まっていません。最近では次世代エネルギーとして太陽光を利用したメガソーラも、設置場所で自然環境を壊していると問題になっています。森林には肥沃（ひよく）の土地があり、その土地は水分を含みやすく養分も豊富で、植物の命をはぐくみ自然が保たれると聞きました。その豊かな土地が1センチの高さになるまで100年の月日がかかるそうです。

昔を忘れ、未来を見ない今の私。終わりにアメリカの先住民の言葉を紹介させて頂きます。

「どんなことも七世代先まで考えて決めなければならない。」

(本文：鹿谷賢純法務員)